

会 議 要 旨

会 議 名	令和6年度第2回東金市子ども・子育て会議
日 時	令和6年10月2日（水）午前10時～午前11時50分
場 所	東金市役所 第1委員会室
出 席 者	委員12名 広瀬委員、宮沢委員、前田委員、高橋委員、小川委員、渡邊委員、 土肥委員、萩原委員、佐伯委員、永嶋委員、石川委員、小嶋委員
事 務 局	【市民福祉部】 緋田市民福祉部長 （こども課）石田課長、樋屋副課長兼入園係長、深澤副主幹兼運営係長 吉野こども係長、鎌田副主査 （子育て支援課）矢野課長、丸山副課長兼児童家庭係長 （健康増進課）矢崎課長、内山母子保健係長 【教育部】 （学校教育課）石原課長、北山学童クラブ係長
次 第	1. 開 会 2. 議 題 （1）第3期東金市子ども・子育て支援事業計画素案について 3. そ の 他 4. 閉 会
1. 開 会	あいさつ（市民福祉部長）
2. 議 題 事務局	※事務局より 議題(1)「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画素案について」を第1章、第2章まで説明。 資料「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画 素案」
会 長	事務局より説明があった件について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願いいたします。
委 員	保育所等施設の数や、施設に在籍している児童の数の一覧を掲載することを検討してほしいです。 また、6ページの年少人口について、第1期計画では17歳まで載っていました。17歳まで載せることで、その子たちが親世代になった時の人数を把握できるため、小中高の人数がわかるようにしていただきたいです。
事務局	1期計画ともう一度見比べてみて、足りないところを補うような形で考えたいと思います。

委 員	10ページからの「子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果概要」で、みてもらえる親族、相談先や就労状況など、色々な調査結果が出ていますが、これに特化した理由を聞かせていただきたいです。また、保護者の方々が今何を望んでいるのかが分かるような調査結果も、合わせて掲載していただきたいと思います。
事務局	まず、この調査結果に載せたものにつきましては、その後の施策につながるものをピックアップしております。基本的には2期計画で載せているものや、「年齢別、母親の就労別の利用状況」等を加えております。ただ2期計画まではあった、どのような利用を望んでいるか、定期的に利用したい教育・保育施設や事業といった設問が抜けておりますので、それらの記載も合わせて検討させていただきたいと思います。
委 員	前回の会議の中で、例えば給食の外部搬入や今後の幼稚園の再編に関連した給食施設の整備について、現在、外部搬入を考えているという話がありました。これについて、皆さんや保護者がどのような考えを持っているのかを知るために、アンケートをやっていると思います。今後どういう給食を提供するのかは子どもたちにとって大事なことなので、その点についてのアンケート結果も掲載していただきたいです。そして、今後どのような形で提供していくのかの検討を進めていただきたいと思います。
事務局	ニーズ調査の中では、「給食についての関心」という設問を今回新しく入れました。この結果も含めて、どの設問を計画に載せていくのか改めて検討していきます。
委 員	給食について、小学校の給食をセンター化するとき、合わせて幼稚園もセンター化すると思うのですが、なぜそうしなければいけないかということは、市民がきちんと理解できるよう説明等をしなければなりません。各園で給食を用意すると人件費が高額になるからセンター化して子どもの食事に費用を回す、センター化することで人件費を節約して持続可能な給食提供事業にする等、様々な観点も必要になっていきます。一概にそれぞれの場所で作って、温かくて美味しいということだけではなく、持続可能であるために、別々の事案、色々な観点で説明が必要になると思います。
事務局	給食のセンター化について、持続可能な施設であるために、今まで親子給食という形で取り組んできた中でいくつか課題もありました。センター化することで効率化を図り、子どもたちにとっても安心して安全な給食の提供ができる、そういう環境を整えていこうと考えております。
会 長	引き続き、事務局より説明をお願いします。

事務局	議題(1)「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画について」の第3章以降について事務局説明。 資料「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画 素案」
会 長	事務局より説明があった第3章以降について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願いいたします。
委 員	27ページの一時預かり事業について、一般型は小規模と言っていましたが、認可保育所でも行っております。うちの場合は困難な時の預かりだけでなく、保護者のリフレッシュのときも月に3回までお預かりをしております。
事務局	今のご意見に付け加えると、一般型は私立の保育所、認定こども園等で行っております。計画の記載内容としては、法律上で定められた内容等を記載しております。各園の一時預かり利用については、保護者の方と私契約、要は保護者の方が申し込み、その後、各施設でそれぞれに見合った時間や形の保育をご提供させていただくという内容で実施しています。もしお問い合わせ等がありましたら、お気軽に各施設に問い合わせるようご紹介いただければと思います。
委 員	学童クラブの運営等において、外部の人材を活用していると思いますが、現在、学校では文部科学省の方針で、「チームの学校」と称して、先生が授業の担当をし、資料作りやコピーなどの業務については支援員を雇用しています。学校の支援員と学童クラブの支援員では制度としては違うかもしれませんが、業務の連携も考えられるのではないかと思いますので、そういった体制を取り得るのかを教えてください。 また、幼稚園や認定こども園にも、学校の支援員のような外部人材について検討した方がいいかと思います。
事務局	学校における支援員の方の活用については、授業中の児童へのサポートをしてもらう形の雇用になっており、学童クラブとは別の形での雇用となっています。ただ、例えば夏季休業などの長期の休業期間において、学校の支援員に学童クラブのサポートをしてもらっている状況です。また、その他の施設等の人材についても、今後学童クラブなどの職員の募集の周知を図っていきたいです。
委 員	これまでニーズ調査を行ってきて、そのアンケートの結果がこの計画にどのように反映されているのかを教えてください。
事務局	計画の中で記載しているところは、22ページの時間外保育事業です。これは2期計画の時から出ていますが、土曜日保育の時間延長のニーズについて、今回自由意見の中でたくさんいただきましたので、本計画期間内に検討ができないかと考え、ここ

委 員	に記載しております。それと、先ほども申し上げた一時預かり事業の中で、公立幼稚園の預かり保育の拡大についてです。今徐々に拡大を行っていますが、ニーズ調査中の自由意見でたくさん意見が出ているので、この辺りを検討していきたいと考えております。 土曜日保育の時間の延長については、20年位前からずっと言われていることなので、時間延長実現に向けてお願いしたいと思います。 また、22ページの実費徴収に関する補足給付について、東金市の市民アンケートを見ると、子育てしやすい町かどうかという質問に対して、「どちらかと言えばそうは思わない」、「そうは思わない」という回答が約37%おります。また、子育てしづらいつと感じる理由は何かという質問に対して、1番目に子どもの遊び場、2番目に子育ての経済的負担の軽減策が充実していないという回答でした。 実費徴収の事業については、年収360万円未満の世帯が対象ではありますが、経済的な負担を東金市としてどう軽減をさせていくのか、この市民アンケートの声とも合わせて、子育て世帯の負担の軽減策を検討してほしいです。 また、幼稚園の給食費の無償化や、保育料の無償化を第3子から第2子に広げるなど、もう少し具体的に、負担軽減を打ち出していきたいと思います。 あと1つ、こども誰でも通園制度について、職員の処遇、配置等、事業の説明をお願いします。
事務局	1点目の経済対策については、検討させていただきたいという回答になります。 2点目のこども誰でも通園制度については、今、国の方でも検討中と聞いており、保育所、こども園、小規模保育等において、配置基準を設けると思われる、という情報が入っています。基本的に、0歳児をお預かりする場合は保育士1人に対して子どもが3人まで、1、2歳は保育士1人に対して子ども6人までが上限です。こども誰でも通園制度については、各施設の定員数、利用児童数等の人数を勘案して預かれる人数を決める形になっています。職員については、あくまでもその施設で雇用している職員です。これが正規職員かパートかの指定は、今のところ国から来ておりません。今現在、こども家庭庁から随時来ている情報を精査しながら、合わせて、こども誰でも通園制度を既に行っている他市町村の施設を見て、より子どもたちに充実した保育を提供できる形を検討したいと思います。
委 員	保護者の負担軽減については、ぜひ検討していただきたいと思います。 また、こども誰でも通園制度について、私が聞くところによると、認可基準というのが緩くなっていて、本当に子どもの安全が保たれるのかが心配です。保護者の都合だけではなくて、子どもにとってどういう制度なのかをきちんと考えていただいて、子どもの安全な保育を守っていただきたいと思います。例えば、小規模保育施設などでこども誰でも通園制度をやると、施設にかなり負担がかかり大変だと思うので、そ

事務局 会 長	の点はきちんと施設のお話を聞きながら進めてほしいです。1番はやはり子どもの安全なので、基準を緩和することなく、子どもの安全がきちんと担保される形で運営をしていただきたいと思います。 それに加え、嶺南幼稚園が令和8年度まで募集するという話が、議会でもあったと思うのですが、嶺南幼稚園の廃止に向けた現状の数値などは、この計画の中に入っているのかどうか教えてください。 嶺南幼稚園の関係については、議会や教育委員会で、今後の方向性について説明しているところです。前回子ども・子育て会議で、嶺南幼稚園の今後の方向性について、嶺南幼稚園の児童数がかなり少ないため、アンケートによる意向調査をさせていただきたいというご報告をさせていただきました。そのアンケート結果の概要については、「その他」のところでご報告します。嶺南幼稚園の影響の部分について、計画内ではまだ数値の方には反映していない状況です。 嶺南幼稚園の件については後でお願いします。事務局は、今出た意見を参考に、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定を進めてください。
3. その他 事務局 会 長 委 員	3. その他「嶺南幼稚園の今後の方向性について」を説明。 資料「嶺南幼稚園の今後の方向性について」 ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。 「東金市就学前児童施設の今後のあり方について」という資料を見ますと、第1保育所、東金幼稚園、源幼稚園が廃園になり、東金市の財源が削減されたとあります。また、今後、嶺南幼稚園の閉園によって、大規模改修・建替等施設更新費用で生じる4,320万円を削減できると資料にあります。確かに園児は少なくなっているかもしれませんが、東金市としてこの嶺南幼稚園を廃止する大きな理由としては、この大規模改修等の費用の削減だと思います。3歳以上のお子さんの41%、パートで働いている保護者の30%が幼稚園を利用しているというニーズ調査の結果から、東金市の幼稚園のニーズは一定程度あると見込んでいると思います。地区説明会等で反対意見がなかったとおっしゃっていますが、色んな方がいる場で反対の意見を述べることは難しいと思います。従って、一定以上の幼稚園に預けているニーズ調査の結果を見ても、私は嶺南幼稚園を廃止ありきで進めるべきではないと、個人的な意見ですが思います。当然市の方針としてあるかもしれませんが、私は嶺南幼稚園の廃園については反対だと申し上げておきますので、今後の状況も見ながら、廃園ありきではなく進めていただきたいと思います。

事務局	嶺南幼稚園につきましては、先ほども申し上げました通り、かなり児童数も減っています。現在定員数が170名に対して35名ということで、3、4歳学級については、複式学級で15、6人程度という状況です。また、東金国際こども園が今年開園いたしました。嶺南幼稚園との近接性を考えると、東金国際こども園に転園していただく等、多くの児童数の中で子ども達が育っていただいた方が適当だという考えもあり、そのような考えのもとに、保護者又は地元の方とも話をさせていただきました。その結果を踏まえ、令和8年度末ということで一応進ませていただきたいと考えています。
会 長	こども園の性質というか、役割をきちんと説明されるといいのではないのでしょうか。
委 員	こども園がダメだというわけではなく、民間がダメだとは言っていないですが、公立の保育所や幼稚園を廃止して民間に移行するというのが、東金市の公的責任の後退ではないかと思うので、これ以上の民間委託はするべきではないと思います。また、東金国際こども園を視察させていただきましたが、人が少ないのではないかと思います。状況が見えてしまったので、東金国際こども園へということであれば、そこで保育士が十分に確保できるような東金市としての支援が必要だと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。
会 長	切実なご意見をありがとうございます。その他について他にいかがでしょうか。
事務局	今後の予定についてお話をさせていただきます。本日は色々のご意見をありがとうございました。説明の中でもありましたように、作成中の部分もございまして、この部分につきましては、これから手引きができ次第作成させていただきます。今日お見せした素案はいわゆるたたき台でございまして、今日皆様方からいただきましたご意見を反映させていただいて、今後計画の原案を作成させていただきます。12月ごろに、本会議をもう一度開催する予定で調整をさせていただきたいと考えております。その後、年明けにパブリックコメントを実施させていただく予定でございます。以上です。
会 長	全体に対してご質問ありますか。
委 員	東金市に限らず、公立に限らず、保育士や学童保育の人の確保がすごく課題だと思います。その人を確保するということで、東金市の公的な支援など、このようなものがあるといいなという意見を述べさせていただきます。公立の中では応募に来た人を情報共有できても、他の私立だと情報共有がされていないのではと思うので、お互いに情報共有ができると、人の流れや採用がスムーズになるのではないかと感じ

事務局	ています。1度落ちて、別のところを探すとなると求職者は大変なので、ある程度情報共有がされて、こっちではどうですかと打診されると行ってみようという気持ちになるのかなとすごく思います。 また、保育所で働きたいという人と、それ以外の臨時で働きたいという方達がいると思うのですが、そこの横の繋がりには情報共有されているのでしょうか。 人材確保についてですが、公立にお申し込みをいただいた方を私立に紹介というのはハードルが高いところで、県の保育協議会の方で、県内の公立私立問わず、保育士等の募集に関して、無料で掲載ができることがありますので、私立には、このようなものを使えますということで情報提供をさせていただいています。実は公立の保育所施設でもかなり人材が不足しており、申し込みがあると大体採用させていただいていますので、私立にご紹介させていただくほどの人材バンクを持っていないというのが実情です。例えば、公立の方に、保育士ではなく事務職などの申し込みについては、各担当課で情報共有をしたり、ホームページ上で各課でパートさんの募集を出したりしておりますので、そちらを見ていただくとか、学童保育の資格を持っているということであれば、教育委員会の方で募集があるかもしれないといったような形での連携はできるようにしています。
委 員	私の園でも保育士を採用するのはすごく大変です。派遣会社から保育士が紹介された時は補助が出るなどがあると助かります。派遣された保育士が3ヶ月働くと、その保育士は5万円もらえるそうですが、派遣された保育士を採用すると、施設は派遣会社にお金を払うことになります。会社によって値段は変わりますが、60万や80万といった金額がかかります。1年間で大体10人くらい面接で来ますが、合う合わないがあり、毎月のように面接はするのですが、それでも1人採用するくらいです。そのような状況でどうしても人が欲しい時は派遣会社を利用するので、無理だとは思いますが、その辺りのお金が出てくれると有難いと思います。派遣会社は1人採用すると本当に高いです。
委 員	山武市で保育士をしていて、この会議は保護者の立場で出させていただいていますが、やはり保育士不足が致命的であり、まずは保育士確保が1番の課題だと思います。保育士の資格を持っていても、保育士として働いていない人が結構いるので、そのような人達にも何かアピールしていけるものがあるといいのではないかと思います。そのようなものも具体的に教えていただきたいです。
事務局	千葉県の保育協議会には、復職支援や卒業後の就職先支援、あとは就職したけどその保育所が合わなかったという方々に対して声をかけて登録をするサービスもあるので、私立も含め、そのような提案をさせていただいているところです。合わせて、他の市町村にも電話などで保育士さんが余っていないかお声かけはしています。千

	葉県の保育協議会が年１回か２回、千葉市と柏市で就職説明会を開催していて、東金市も３年連続で参加しているのですが、東京に近い千葉市や成田市など金額も高いようなので、なかなか山武郡内に振り向いてもらえないという実情です。アピールはしているのですが、難しい状況なので、もしいいやり方があればお話をいただければと思います。
委 員	成田市は保育士に入る手当がいいので、いい方に流れていくのも要因と思います。
委 員	手当の金額は市によって違いますか。
事務局	市町村の力によります。
委 員	保育士の皆さん、本当に大変だと思います。その働き方に見合う給料ではないというのが１番問題だと思います。パートで働きたいという方は別ですが、基本は保育士になろうと思った方は、正規で働きたい方が多いと思います。これまでの募集は会計年度でパートという状況だったので、そこをまず見直して、正規の保育士の募集にしていけないと、東葛の方に流れていってしまうので、正規の保育士の募集というところをきちんとしていただきたいと思います。
委 員	看護師の例を申し上げますと、看護師が足りないという状況で、厚生労働省が看護師の養成を大学４年間でするという方針に変えてますます足りなくなりました。そこで、東金市なども看護師に対して、大学の学費の奨学金を出すようになりました。大学４年間奨学金を出して、卒業後に東金市で働くこと返済が免除されるという形にして、そのおかげで東金市でも看護師になりたい人が増えてきました。本当に保育士が足りないのであれば、奨学金を支給して、短大や専門学校や大学も含めて、保育士養成をして、奨学金を免除するなど、広い意味で検討していただきたいと思います。
委 員	人と仕事のマッチングの仕事を本業でやっているのですが、求職についてですが、お給料が低くても手を挙げてくださる方はいらっしゃいます。給与以外のところにメリットを見出して、長期で働いてくださっている方がいらっしゃいます。休みに融通が利きやすいとか、職場の環境がとても良いからとか、必ずしもお給料を第１優先にしている方ばかりではないというところで、お金がないのであれば、それ以外のメリットを上手くアピールして、そこに刺さる方達に来てもらえるように募集をしていけるといいのではないのでしょうか。市のホームページの募集は簡素な感じで書かれているので、もう少し仕事のイメージが掴みやすい求人内容が書かれているとお金ではないところで探している方にも刺さるのではないかと思います。

